

平成 21 年 5 月 7 日現在

研究種目：基盤研究 (B)

研究期間：2006～2009

課題番号：18320025

研究課題名 (和文)

啓蒙と東アジア：相互性のプリズムを通じた 18 世紀学の構築

研究課題名 (英文)

Enlightenment and East Asia: Formation of the Learning of 18th century through a prism of a mutual relation between East Asia and Europe

研究代表者

高橋 博巳 (TAKAHASHI HIROMI)

金城学院大学・文学部・教授

研究番号：70109833

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学・思想史

キーワード：思想史、哲学、啓蒙、東アジア、百科全書

1. 研究計画の概要

本研究は 18 世紀を「公共知」の世紀として捉え、『百科全書』に典型的に見られるような知の総合化の東西比較を行い、近代以降の知の混迷の時代に示唆を与える処方箋を見出すことを目指している。

2. 研究の進捗状況

昭和 18 年度にまず「ヴォルテールと孔子」(孟華・北京大学)「聖人は幸福か？」(渡辺浩・東京大学)の研究会を手始めに、翌 19 年度にはレカ・ティオミス (パリ第 10 大学)を招いて東京と京都で『百科全書』研究の現在をめぐって討議した。これと並行して国際 18 世紀学会に日韓共催でラウンドテーブルを行うためのセッションを名古屋で韓国側参加者を招いて行った。そのために本番では充実した二つの研究会を開いて、西洋の参加者からも共感をもって迎えられた。20 年度も中国・韓国から研究者を迎え、百科全書的な知識をめぐって研究集会を開き、成果を挙げている。

3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。
(理由)

進捗状況にも記したように、これまでの蓄積のうえに今年度の「知の原理、ないし方法」をめぐるシンポジウムで、とりあえず本研究の一応の結論を導き出す段階に達した。また当初目指していた、成果を諸外国の研究者にも発信していくことも積極的に行っている。なお研究分担者である安藤隆穂氏個人の功

績ながら、昨年度の日本学士院賞受賞も本研究活動の幅を示すものと自負している。現在は、年度末にむけて報告書の準備を進めている。

4. 今後の研究の推進方策

18 世紀の東西にわたる百科全書的な知の集積の大枠については明らかになったが、個別の問題はまだ未解明の部分が多く、それらをいかに解明し、その成果を総合して、現在に活かして行くかは、今後に残された課題である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 5 件)

①高橋博巳「成大中の肖像-正使書記から中隠へ-」、『金城学院大学論集』人文科学編 5-1、2008 年。査読無 P40-50

②鷺見洋一 Sur l'importance des métadonnées de l' *Encyclopédie* — annoncé' un projet japonais, *Lectures de Jacques Proust, Textes rassemblés* par Muriel Brot et Sante A. Viselli, Presses universitaires de la Méditerranée, 2008 年。査読無 P93-102

③逸見龍生「「検討」概念の生成と構造——十八世紀哲学的地下文書『宗教の検討』について——」, 2008 年。査読無 P91-109

④寺田元一 “The Animal Economy as Object and Program in Montpellier Vitalism” *Science in Context*, 21-4, 2008年。査読有 P537-579

⑤高橋博巳「李彦瑱の横顔」、『金城学院大学論集』人文科学編2-2、2006年。査読無 P15-30

〔学会発表〕(計 5 件)

①長尾伸一 ‘Scottish Intellectual Influences in 19th century Japan’, CSSP Spring Workshop2009: Scottish Philosophy in America and Asia, Princeton Theological Seminary, Princeton, NJ, USA, 14th March, 2009

②川島慶子「ラヴォアジェ夫人研究の変遷におけるジェンダー問題」, 化学史学会 東京工業大学、2008年7月5日

③高橋博巳「東アジアに文芸共和国は可能か」, 漢陽大学校韓国学研究所 2008年11月28日

④高橋博巳「江戸の儒者が見た「西洋」と「古代の理想」」, Le Regard Eloigne L’ Europe et le japon- 16-19 siecle Colloque International (Centre Culturel Calouste Gulbenkian, Paris, etc.), Institut National d’ Histoire de L’ Art (INHA) Paris, 2008年10月16日

⑤高橋博巳 At the break of the modern age: The VOC and Japanese Intellectuals, International Conference The Dutch Trading Companies as Knowledge Networks (Institute of Culture and History-University of Amsterdam), Museum Volkenkunde, Leiden, Netherlands, 2008年10月23日

〔図書〕(計 2 件)

①高橋博巳『東アジアの文芸共和国』新典社、2009年。総ページ数127頁

②安藤隆穂『フランス自由主義の成立』名古屋大学出版会、2007年。総ページ数438頁